
国体公開競技「武術太極拳」の実施計画について（改訂版）

2016年6月18日 第5回定時社員総会に向けて

国体準備委員会 矢島孝一郎委員長

2016年6月29日臨時理事会承認による改訂を反映

一、第2期国体競技選定基準（2019年～2022年）による国体公開競技：

武術太極拳は、日本体育協会（日体協）により開催される2019年茨城国体、2020年鹿児島国体、2021年三重国体、2022年栃木国体の4年間、国体公開競技として実施される。

各都道府県から参加する選手人数は下記の通り。

1. 少年の部＝男女各1名、15歳～17歳（高校生年代とし、中学生以下は出場不可）
2. 成年の部＝男女各1名、18歳～29歳
3. シニアの部＝男女1組、30歳～59歳

競技種目は下記の通りとなっている。

1. 少年の部1＝「ジュニア太極拳2」（3分以内）（二人同時）に男女各1名、計2名
2. 少年の部2＝「初級長拳」（2分以内）に男女各1名、計2名
3. 成年の部1＝「26式太極拳」（4分以内）（二人同時）に男女各1名、計2名
4. 成年の部2＝「国際第1套路長拳（B套路）」（2分以内）に男女各1名、計2名
5. シニアの部＝「国体用太極拳推手規定套路」（4分以内）に男女1組、計2名

二、経過：

2013年

日本連盟は2013年1月13日に開催した第81回理事会において、2019年から始まる国体公開競技について協議を行い、国体準備委員会を設立して具体的な準備を始めることとなった。

2014年

太極拳と長拳の国体公開競技種目にたいして、第1回の「国体コーチ講習会、国体選手講習会」が、西日

本（神戸市，10月13日）と東日本（東京，11月30日）で実施され，太極拳124人，長拳ジュニアに64人，長拳に47人の計235人が参加した。

2015年

2015年6月22日付けで，「国体公開競技 武術太極拳競技ルール」＜第5版＞が作成された。

第1期（前期）「ブロック国体コーチ・審判員研修会」に，全国7ブロックで実施され，国体コーチ（太極拳，長拳ジュニア，長拳）に542人，国体審判員（太極拳，長拳）に340人が参加した。

第2期（後期）「ブロック国体コーチ・審判員研修会」には，6ブロックで，国体コーチ（太極拳，長拳ジュニア，長拳）に464人，国体審判員（太極拳，長拳）に306人が参加した。

2016年／2017年

2016年2月7日に東京で，2月14日に鳥栖で，3月13日に大阪で「第1期国体審判員認定試験」が実施され，3会場で太極拳審判員236人が受験し，212人が合格した。また，3会場の長拳審判員試験には102人が参加し，92人が合格した。

「第1回国体コーチ認定試験」が，2016年8月7日に大阪で，8月14日に東京で実施される。

「第2期国体審判員認定試験」が，2017年2月19日に鳥栖で，2月26日に大阪で，3月12日に東京で実施される。

2016年第3期（前期）「ブロック国体コーチ・審判員研修会」が，7ブロックで実施される予定。

三、国体公開種目の出場選手選抜をブロック毎に実施する：

2019年茨城国体の都道府県選抜は2018年度に実施することとするが，当分の間，都道府県ごとに行うのではなく，全国7ブロックでブロック毎の「国体公開競技ブロック選抜大会」を実施し，このブロック選抜大会で，各都道府県の各種目毎に最上位選手を選抜することとする。

この方式を実施することによって，審判員の審判技術の標準化を図り，将来的には各都道府県ごとに選抜大会を実施する。なお，詳細は2017年1月の日本連盟理事会・総会で発表する。

四、第3期国体競技選定基準（2023年～2026年）：

2023年～2026年の4年間に実施される国体実施競技（正式競技種目）および国体公開種目の選定に関して，日本体育協会（日体協）による実施計画の問合せが，日本連盟を含む各競技団体にたいして発送され，まもなく，書面調査とヒアリングが行われることになっている。

五、競技種目の変更・確定：

6月18日第95回理事会・第5回社員総会においては，競技種目に，「シニアの部1」＝太極拳推手規定套路（30歳～49歳），および，「シニアの部2」＝太極拳推手規定套路（50歳～69歳）が設けられること，全体の競技参加人員は，13人（選手12人＋監督1人）×47都道府県＝611人となることで決定されていた。それ以前の規程では，競技種目1～5までで，47都道府県の参加人員は517人であった。

しかしながら，その後，公開競技種目実施県実行委員会（栃木県等）から，公開競技種目の人員枠は600人を超えないという規程が示された。日本連盟は6月29日に臨時理事会（ファックスによる会議）を開催し，この公開競技規程に基づいて参加人員をもとの517人になるよう，「シニアの部」を1本にまとめ，年齢枠を30歳～59歳とすることを決定し，4県の実行委員会（茨城，鹿児島，三重，栃木）に通知を行い，これらの実行委員会から承諾を得た。

以上